

令和元年度 沖縄県振興審議会 第3回 基盤整備部会議事要旨

令和元年9月10日(火) 13:30~16:36

【議題 第1~2回基盤整備部会における委員意見及び対応方針(案)】について
○給水車の配備についての記載を行う必要がある。長期的な断水が起きた場合、病院などへの給水については、タンクなどのインフラのみならず、短期的な対応から長期的な対応などステップ毎に記載をすべき。

○発電所が津波で被災した場合の対応策について、どういったことがあり得るのかシミュレーションを行う必要がある。

【議題 第1~2回基盤整備部会委員意見及び対応方針(案)〈意見書〉】について
○電線地中化について、緊急輸送道路に指定した箇所について記載を行う必要がある。

○水資源について水資源開発としてのダムなどのキャパシティーの記載をする必要がある。

○災害時における学校教育、老人ホーム、障害者施設等の要配慮者利用施設の避難確保計画について記載する必要がある。

○目標とする姿について、高率補助を受けて整備をしたことに対して満足度の評価では無く対外的に説明可能な数値を用いた方が良い。

【議題 観光、物流等を支える自立型経済構築に向けた基盤整備及び駐留軍用地跡地の有効利用】について

○モノレール延長整備と併せてTDM施策推進の為のモノレールと他公共交通機関相互の結節、また、利便性の高い公共交通ネットワーク形成は、喫緊の課題であると考え、あるべき姿や具体的に今後どのように取り組んでいこうと考えているか。

○世界水準の観光リゾート地形成について、多客駅となる那覇空港駅や県庁前駅についても駅の増床が必要と考えている。世界水準のリゾート地としてお客様を迎えるため駅増床は是非必要と考えるが、今後の取り組みについての考え方は。

○道路除草について、各市町村、周辺にいる企業、ボランティアで住民を活用すべき。

○道路除草の予算について、ホテルの宿泊税を利用すべき。

○海運における片荷輸送について、本土に持って行く貨物が少ないことが問題点となっているが、本土においてはトラック運転手不足や法規制により長距離トラックの確保が困難であることからモーダルシフトが行っている。

そのため沖縄に一旦外航の貨物を持ち込んで、仕分けし、九州、あるいは大阪、名古屋、東京に内航船で運ぶという仕組みづくりのため、移出貨物の文言を入れる必要がある。

○那覇空港を世界水準の空港にするとの記載について、どういうところを高めれば世界に比するのかを具体的に記載すべき。

○Society5.0に向けてビックデータを活用するとの記載をすべき。

○渋滞対策について、今までの報告書と同じことが書かれているが、何のデータをもとにやっているのか。アンケートなのか、実際にビッグデータを解析した結果、ボトルネックがあるとか、乗り換えの運行障壁が出ているとかをもとにした記載なのが見えてこない。

次の計画に向けての点検報告書であれば、ビッグデータ等の活用によって実態を整理し、より効果的な投資をするという方針づけの記載を行う必要がある。

○将来空港の新ターミナルや那覇軍港が返還された場合を含めて、高速船の発着場所を検討し総点検報告書に港湾施設の更なる拡充の記載をする必要がある。

○先島地区、久米島地区で2ルート化やループ化との記載があるが文言を統一すべき。

○離島内における面的なブロードバンドの確保を推進する記載を行う必要がある。

○産業振興の分野でICTなど高度な機械を導入している建設業について、産業高度化・事業革新促進地域の税制控除の対象に建設業を入れる検討をすべき。

○観光客の受け入れ体制について、クルーズ船における観光バスの対応について国際通り周辺の駐車場対策について検討をすべき

○将来は沖縄で長時間滞在し、観光収入が増えるようなクルーズ船の誘致が必要。

○国際通りなど観光地において、観光客が安心して観光できるようトイレの設置を行う必要がある。

【議題 離島における社会基盤の整備】について

○観光によって影響を受けるインフラについて法定外目的税などの検討を行う必要がある。

○新たに基盤整備を行うことによって開発ポテンシャルが急速に上がる場所については、それをマネジメントする仕組みについて記載が必要。

○スマートシティ、スマートアイランド、スマートモビリティ等の記載を行う必要がある。

○総点検報告書において他分野にまたがる箇所について全体を俯瞰した記載を行える箇所を設ける必要がある。

○離島空路について、地域を挙げて採算性を高めるなど、補助を行う理由について記載を行う必要がある。